

『現代社会研究』編集後記

2016年度ももうすぐ終わるところまで来ました。早いものです。

振り返ってみれば、世界的には、夏にはアスリートの祭典であるオリンピックとパラリンピックが、日本の正に地球上では裏側のブラジルのリオデジャネイロで行われ、選手の素晴らしい活躍に、翌日の仕事のことを気にしつつ応援しました。閉会式には、次期2020年の開催都市である東京から、8月に新知事に就任したばかりの小池知事が五輪旗を引き継いだのは印象的でした。そのほかに、イギリスのEUからの脱退の国民投票結果、アメリカでは政治的経験のないビジネスマンのトランプ大統領の誕生など、世界の今後の動向の変化を想像させる様々な出来事に驚きを感じざるを得ませんでした。

国内に目を転じれば、4月には震度7が3日の間に2回も発生する熊本地震が発生し、国民は震撼しました。8月には地球温暖化の影響が東北地方に4つの台風が上陸し、大きな被害が発生しました。また、国勢調査の結果から、統計開始来はじめて人口が減少するという事実が発表となり、「人口減少社会」の現実を知ることとなりました。明るいニュースでは、大関稀勢の里が今年の1月の初場所で苦闘の末に初優勝を遂げ、19年ぶりに日本人の横綱の誕生となり、相撲ファンだけではなく、国民からも大きな喝采を受けました。

また、神戸学院大学は開学50周年を迎え、6月には記念式典が行われ、次の50年に向けての道筋が公表されました。

本学に2014年に「現代社会学部」が設立され、同時に『現代社会研究』も創刊になり、本誌は第3号になります。会員の研鑽の成果として、論文、研究ノート、報告に関する8編を掲載することができました。国際分野に関するもの、国内の災害や地域活動、社会現象に関するものなど、まさに現代社会の動向を考える発信の場として活用されることを期待します。

本学部の授業や研究に関わる幅広い会員の方々からの投稿と、陰ながら編集委員を支えていただいた学部長室の平岡さんには、感謝申し上げます。

中山 久憲

神戸学院大学 現代社会学会 (2016年度)

会長：中村 恵

監査：金子 勇

編集委員／学会委員：中野 雅至、都村 聞人、中山 久憲、水本 有香

「現代社会研究」 第3号 2017年3月30日発行

発行 〔〒650-8586 神戸市中央区港島1-1-3〕神戸学院大学 現代社会学会

印刷所 〔〒602-8048 京都市上京区下立売通小川東入〕中西印刷株式会社
